

あぷろうち

~ approach ~



日本労働組合総連合会
群馬県連合会(連合群馬)

発行人 清村宗一
編集人 中川文蔵

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地の2
(群馬県勤労福祉センター2F)
TEL.027-263-0555(代)
FAX.027-261-0549
Eメール rengo-gunma@mtg.biglobe.ne.jp

2002年11月号
No.128

FORCE UP! 明日への風

みらい

かせ

『住みよい群馬をめざして、
語るう連合群馬の明日!!』
みらい



大川会長 あいさつ

この一年間は、フォースアップビジョンに掲げた目標を実現するため、基本に立ち返り、産別・地協・県連合の力あわせが重要であると考え、基盤作りに取り組んだ。今現在、産別・地協・県連合の活動領域や役割、責任・連帯のあり方が、十分整理されていない。従って、今後の課題としては、産別・地協・県連合が正三角形でしっかりと連携され、一体的な運営強化をはかることが重要である。

私たち連合群馬は、第7期後半を第8期のスタートとして位置づけた。勤労県民の期待にこたえるための役割と責任を果たすためには、活動の集中が極めて重要であり、限られた財政と時間、人的パワーなどのエネルギーを連合群馬の重要な活動の柱に傾注する。

①政策・制度改善活動の質的強化。②行政・経営者団体との連携強化のための力量アップ。③「力あわせ、知恵あわせ」のための地協活動を含めた組織運営の強化と組織拡大。④一体感ある、スケールメリットをより追求した具体的活動の実践。などの活動分野に特化して取り組んで行く。これまでの経過や歴史にこだわらず、改善すべきことは速やかに改善し、試行を重ねながら第8期のスタートを確かなものとするための基盤整備をしっかりと整えるために、果敢にチャレンジしていきたい。第7期前半に引き続き「参加と行動」による、ご協力とご支援をお願いしたい。

連合群馬

第13回

地方委員会

「厳しく、難しい時代であるからこそ「連合群馬の真価」が問われていることを執行部一同強く認識し、能動的に行動を起こす。構成産別ならびに各地域協議会の「熱意ある参加と行動」をお願いします。」私たちは、10月27日(日)前橋市・勤労福祉センターにおいて、第13回地方委員会を開催し、第7期後半の活動方針を決定しました。



ごあいさつをいただいた 来賓の方々



中山 博美 労働政策課長

牛久保 雅美 群馬経営者協会会長



たくさんいただきました 祝電・メッセージ

～順不同・敬称略～

- ・日本労働組合総連合会会長
- ・連合栃木会長
- ・連合茨城会長
- ・連合埼玉会長
- ・連合千葉会長
- ・連合東京会長
- ・連合神奈川会長
- ・連合山梨会長
- ・中央労働金庫群馬地区本部本部長
- ・参議院民主党新緑風会議員会長
- ・尾瀬勤労者休暇センター理事
- ・全労済群馬県本部理事長
- ・群馬県労働者福祉協議会会長
- ・群馬トラベルセンター理事長
- ・群馬福祉対策協会代表取締役
- ・群馬県民社協会会長
- ・社会民主党群馬県連合代表
- ・群馬県勤労者住宅協会理事長
- ・ホテルコブシャウ猿ヶ京代表取締役
- ・群馬県労働者信用基金協会理事長

- 笹森 清
- 森田 一穂
- 海老沢政次
- 吉沢 邦雄
- 岡田 勝
- 伊草 勝
- 金子 正昭
- 田中甲子男
- 吉永 賢爾
- 角田 義一
- 駒崎 孝司
- 田所 忠雄
- 大川栄八郎
- 菊池 次郎
- 林 均
- 茂木 勝彦
- 土屋 富久
- 岩丸 久
- 高橋 国昭
- 辻 季雄

